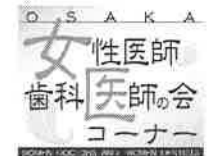


# “背中押された気分”

## 生き方みつめる学習会

女性医師・歯科医師の会は10月20日、保険医会館で認知症の予防と改善に関する学習会を開いた。歯科医師・医師ら20人が脳のメカニズムを学んだ。講師は関西医科大学名誉教授の玄番央恵氏。

講演は「脳を知って元気で生きよう」をテーマで、小脳を切除された猿の脳は運動野の機能は低下するが、低下した運動機能を代償するために体性感覚野や頭頂連合野が運動機能を発現することが明らかになった。



た、猿を用いた実験における認知機能の発現に関わる脳機序

について話した。脳の代償機能をより活発にする方法として、体性感覚の神経インパルスにより多く脳に伝える皮膚(末梢神経)を刺激することが有用である。また、下肢運動を長期間行わせた猿群に学習能力の向上性が認められることを示された。末梢神経を刺激することと運動を続けることが、脳機能低下の予防と改善に役立つと述べられた。

玄番氏は神経内科医として臨床に携わり、研究室で実験をこなしながら3人の子どもを育てられた。忙しいなかのような子育てをされたのかという同じ女性として気になる質問には、子どもと接する時間が少ない分、夕食の時間は出来るだけ一緒に過ごしたと。この時間は、いろいろなことを少ない時間で取りよめる訓練になったと、後に子どもたちに告白されたときを振り返って話された。

自分は母として主婦としては60%のことしか出来ないから、出来る事は自分たちでしなさい、20歳になれば独り立ちするようにと言いつつ聞かせ、おかげでそれぞれ自立に立ち上りつつあるとのこと。親が心配するより子どもは子どもで何とかするもので、偏差値の高い低いは全然関係ないとの言葉に、私も少し肩の力が抜けたように感じた。

(城東区・玉川尚美)

### 12月度生涯研抄録

## 歯周病治療における化学療法の実際

王 宝禮(松本歯科大学歯科薬理学講座・大学院口腔内科学教授)

1999年にOosterhof博士が、Science誌でバイオフィームについてレビューされ、その中で菌・歯周病をバイオフィーム感染として紹介され、歯周病がバイオフィーム感染症として位置づけられた。

その歯周病の発症機序は、歯周ポケット内で歯周病原菌によるバイオフィームが形成され、バイオフィームより放出された細菌が浮遊し、歯肉上皮に付着し、侵入する。細菌の刺激が持続すると歯肉の中で傷害を与え、局所の免疫系を壊し、組織内では破骨細胞を活性化し、歯周病が進行していく。歯周ポケット内にバイオフィームが形成されると物理的除去あるいは抗生物質による効果は低くなる。従来から臨床で普及している歯周ポケット内に注入するテトラサイクリン系の薬剤(歯科用塩酸ミノサイクリン軟膏)を注入する徐放性薬物局所配送法(LDDS: local drug delivery system)は、歯周ポケット内に存在するバイオフィームから放出された浮遊菌に対して、とくに抗菌活性を示すものと考えられている。しかし、テトラサイクリン系抗菌薬はバイオフィームを通過しないため破壊できない。一方、マクロライド系薬剤は、幅広い抗菌活性を示し、例えば緑膿菌に対して抗菌作用はないがバイオフィーム形成抑制、細菌付着抑制などの薬理効果がみられる。また、緑膿菌由来のバイオフィームの成分であるグリコカリックスはマクロライド系抗菌薬によって分解される。この理由として、バイオフィームへの良好な透過性、体内グリコカリックス産生系におけるGMD(Guanosine diphosphonamide dehydrogenase)酵素活性の抑制による多糖体産生抑制があげられています。このような背景から私はマクロライド系抗菌薬が歯周病治療に有効だと考えた。

今回は、バイオフィームの概念と、全身投与によるマクロライド系抗菌薬歯周病治療法に関する、基礎・臨床研究および実際の治療例をお話させていただきます。皆様と一緒に考察していきたいと思う。

### 協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731  
ファクス 06-6568-0564

11月度生涯研修  
「歯科診療所における院内感染防止策―感染リスクの評価と標準的対応―」  
日時 11月18日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 駒井正氏(宝塚市国民健康保険診療所歯科口腔外科) 定員 100人  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※生涯研修カードを、持参ください。  
※受講者には「院内感染症対策講習会修了証」を配布します。

おおさか医科・歯科九条の会「講演と文化の集い」  
日時 11月25日(日) 午後2時30分  
会場 保険医会館  
内容 第1部 文化企画「レトロモダンミュージックショー」大阪楽団  
第2部 記念講演「今度の騙しは手強いぞ」安齋育郎氏(立命館大学国際平和ミュージックム館長) 定員 150人  
会費 無料(ご家族・スタッフの方とは是非、参加下さい)  
※生涯研修カードを、持参ください。

12月度生涯研修  
「歯周病治療における化学療法の実際」  
日時 12月9日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 王宝禮氏(松本歯科大学歯科薬理学講座教授) 定員 100人  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※生涯研修カードを、持参ください。

1月度生涯研修  
「日常臨床に役立つ嚙下障害の診断と治療」(仮題)  
日時 2008年1月20日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 野原幹司氏(大阪大学大学院歯学研究科顎機能治療学講師) 定員 100人  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※生涯研修カードを、持参ください。

参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。  
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。  
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。

### 08新年号 投稿・写真を募集します

新年号への会員投稿・写真を募集しています。締め切りは12月7日。採用の方には薄謝を差し上げます。なお、掲載の可否については新聞部などで決めてさせていただきます。投稿のジャンルは自由で字数は600字以内、顔写真(近影)を同封下さい。写真は新年や冬にまつわる風景・人物写真です。  
※詳細は協会新聞部まで